

あおば保育園がなくなる！？

公立園でなくなる！？
子ども達、父母、職員はどうするの！？
ここが心配！

「安上がりの保育」＝公立保育園・私立保育園への補助を削減・廃止＝勤続年数の少ない先生、非常勤などの雇用の不安定な先生で人件費を削減＝保育士不足・・・子どもを託せる？



うへん
どうしよう

刈谷の保育をよりよくなる会

全国福祉労働組合 東海地本 こぐま分会

刈谷市富士見町3丁目304番地（こぐま保育園内）

TEL 0566-23-2224

保育園の運営費は7～8割が人件費。
ベテラン保育士や正規職員を削って、安上がりな保育所に変えられようとしています。

民営化の理由は財政難！？

刈谷市は民営化の理由を「財政難」と言いますが、公立保育園があったから財政難になったのでしょうか。「多様なニーズ」には公立保育園ではこたえられないのでしょうか。公立ではできないということは、今後保育行政を充実しないという態度の表明だと言えるでしょう。

公立保育園の民営化は、国の保育制度改革の流れで起こってきていることであり、「保育の市場化」を目指す国の保育政策が背景にあります。そこには「いかに安く」という考え方がなく、「保育の質」は二の次になるのではないのでしょうか。

刈谷市十二月議会で、あおば保育園が移転、建て替えにもない、二〇〇八年度（平成二〇年度）より指定管理者制度で委託・運営、つまり「公立保育園廃止」となりました。今年十一月に行なわれた「刈谷の保育をよりよくする会」による市長交渉での「刈谷市は未来を担う子ども達に公的責任をもって保育してほしい。民営化をしないでほしい。」という父母や職員の切実なおもいが踏みにじられる形となっています。

公立保育園廃止！！